

第11回未来エネルギーフォーラムシンポジウム  
— 国際リニアコライダー(ILC)計画のもたらすもの —  
開催のご案内(第一報)

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、早稲田大学理工学術院では、早稲田大学—東京都市大学共同大学院共同原子力専攻ならびに(一社)先端加速器科学技術推進協議会と共催で、第11回の未来エネルギーシンポジウムとして「国際リニアコライダー(ILC)計画がもたらすもの」を企画いたしました。

先端加速器や放射線利用は原子力分野において発電と並ぶ大きな柱となっており、早稲田大学—東京都市大学共同大学院共同原子力専攻においても、原子力エネルギーとともに先端加速器・放射線分野に軸足を置いた教育・研究活動を行っています。

今回のシンポジウムでは先端加速器の代表例である ILC 計画を中心テーマとし、その概要、応用を含め、ILC 計画によって日本にもたらされる効果をいろいろな観点から各分野の第一人者にご講演いただき、皆様と共に考え理解を深めたいと存じます。

ご多忙の折とは存じますが、多くの方々にご参加を賜りたく、ご案内申し上げます。

記

1. 開催日時:2015年3月2日(月) 13時00分~17時40分(受付開始12時30分)
2. 開催場所:早稲田大学西早稲田キャンパス 63号館 2F-03, 04, 05教室
3. プログラム:

第一部

- 13:00- 開催挨拶  
早稲田大学 副総長 橋本 周司  
東京都市大学 学長 三木 千壽  
先端加速器科学技術推進協議会 理事/日立製作所 技監 丸 彰
- 13:20-14:10 「ILCの科学的・社会的意義と実現に向けた取り組み」  
東京大学大学院理学系研究科教授・素粒子物理国際研究センター長  
駒宮 幸男
- 14:10-15:00 「ILCと地域の将来～地方創生を中心として～」  
日本創成会議 座長 増田 寛也
- 15:00-15:50 「加速器(放射線)が我々の生活に果す役割」  
日本アイソトープ協会 専務理事 柴田 徳思

コーヒーブレイク(15:50-16:10)

第二部

- 16:10-16:30 「超伝導加速空洞技術とその応用」  
三菱重工業(株) 仙入克也
- 16:30-16:50 「電子管技術とその応用」  
東芝電子管デバイス(株) 湯城 磨
- 16:50-17:10 「検出技術とその応用」  
(株)リガク 虎谷 秀穂

- 17:10-17:30 「超伝導電磁石技術とその応用」  
三菱電機(株) 山本 俊二
- 17:30 閉会挨拶  
早稲田大学理工学術院院長 大石進一教授
- 18:00-19:30 懇親会 (63号館1階ラウンジ) 会費無料

4. 定員:約 300 名

5. 参加費:無料

6. 参加申し込みについて

(1)申し込み内容および申し込み先

参加申込は、以下の URL で「共同原子力専攻」の web に入ってください、  
「申請フォーム」をクリックしていただき、ご入力をお願いします。

<http://www.nuclear.sci.waseda.ac.jp/>

(2)申し込み締め切り:2015年2月26日(木)

(3)問い合わせ:未来エネルギーシンポジウム事務局(早稲田大学理工センター内) 担当:齋藤 泰秀

E-mail: [yass@waseda.jp](mailto:yass@waseda.jp) Tel : 03-5286-3050

7. アクセス

地下鉄東京メトロ副都心線:西早稲田駅下車 出口3(早大理工方面口)がキャンパスに直結

JR 山手線、地下鉄東京メトロ東西線、西武新宿線:高田馬場駅下車 徒歩 15 分

JR 山手線:新大久保駅下車 徒歩 12 分

地下鉄大江戸線:東新宿駅下車 徒歩 15 分

都バス(池 86)池袋駅東口⇄渋谷駅東口:都立障害者センター前下車 徒歩 3 分

(地図) <http://www.sci.waseda.ac.jp/access/>

主催:早稲田大学理工学術院

共催:早稲田大学—東京都市大学共同大学院共同原子力専攻、(一社)先端加速器科学技術推進協議会